

一生勉強、一生青春

—働く喜び、望ましい社会人としての在り方とは—

公益社団法人 経済同友会
林 明夫

後でお読みになりやすいように、Q and A の形で本日の講演資料を作りました。御活用下さい。

Q 1 : 本日の講演会の目的・ねらいは何ですか。

- A : (1) 経済界を中心に活動する私のお話をお聞き頂き
(2) 日本橋高等学校 1 学年の一人ひとりの生徒の皆様が
(3) 社会との関係を認識し、将来の進路選択への意識を高めるとともに
(4) 現在の生活を見直す機会とすること

Q 2 : どのような学校生活を送ってきましたか。学生時代の好きな言葉も紹介しながらお話下さい。

- A : (1) 足利市立山辺中学校
①「ブルドッグ魂」(食いついたら離すな)
②「練習で泣いて、試合で笑え」
(2) 栃木県立足利高等学校
「一所懸命」(一つの所で命を懸けるくらい熱心に行くこと)
(3) 慶應義塾大学法学部法律学科
①「法律を学ぶ者はいつも最悪のことを考えて行動すること」
②「注意一秒、ケガ一瞬」
(4) 29 歳まで慶應義塾大学法学部司法研究室、研究生
①「持続する志(こころざし)」
②「初心忘るべからず」

Q 3 : どのような仕事や社会的な活動をしていますか。

- A : (1) 株式会社 開倫塾 代表取締役社長
* 栃木県・群馬県・茨城県に 65 校舎ある学習塾の塾長 (サービス産業)
(2) マニー株式会社、顧問、元社外取締役
* 手術用縫合針製造、宇都宮市に本社、ハノイ、ヤンゴン、ビエンチャンに工場 (製造業)
(3) 社会福祉法人 両崖福祉会 特別養護老人ホーム清明苑 理事(足利市) (医療・介護・福祉)
(4) 国立大学法人 宇都宮大学大学院工学研究科 客員教授 (高等教育)
(5) 学校法人 有朋学園 有朋高等学院 理事長(福島市) (学校・教育)
(6) CRT ラジオ栃木放送「開倫塾の時間」毎週土曜日午前 9 時 15 分～ 25 分を一人で担当 26 年目 (www.kairin.co.jp に放送内容の速記録あり) (マスコミ)

Q 4 : どのような人生観をおもちですか。

- A : (1) ①「自己責任」
②「自助努力」
③「自分のことは自分で責任をもつ」
- (2) ①「あきらめたらおしまい」
②「人生逃げ場なし」
③「自分の未来は自分で切り開く」
- (3) ①「会った人は皆友達」
②「目には遠いが心は近い」
- (4) ①「教育ある人とは勉強し続ける人」
②「一生勉強、一生青春」
③「健康第一(心の健康、身体の健康)」

Q 5 : 働く喜びとは何ですか。

- A : 1. (1) 仕事とはお客様のお役に立つこと。
- (2) お客様のお役に立つとは、お客様の問題を解決(問題解決)すること。
- (3) お客様のお役に立つことで、社会のお役にも立つこと。
- (4) お客様の問題を解決することは、社会の問題を解決すること。
- (5) 誰がお客様かをはっきりすること。
- (6) お客様の問題とは何かをしっかりと知ること。
- (7) お客様の問題をどのように解決したらよいか考え、その方法を物やサービスとして具体的にお客様に示すこと。
- (8) 働く喜びとは、お客様の問題を解決することでお客様のお役に立つこと。社会の問題を解決することで社会のお役に立つこと。
2. 生活できるだけの収入を得ること
3. 自己実現

Q 6 : 望ましい社会人としての在り方は何ですか。

- A : (1) 知識・情報・技術を用いる能力を身に付けていること。
①コンピュータは大事
②自分の得意分野を限りなく伸ばすこと
- (2) 多様な集団で交流する能力を身に付けていること
①英語によるコミュニケーション
②相手の立場に立って考え、行動

③礼儀正しさ、元気なあいさつ

(3) 自律的に活動する能力を身に付けていること

①高い志をもつ

(4) 5S を身に付けていること

①整理(いらぬものを捨てる)

②清掃

③整頓(決まったところに決まったものを置く)

④清潔

⑤躰(自分から進んで行く)

Q 7 : 学校の勉強は大学や専門学校で、また、社会に出て役に立つのですか。

A : (1) 高等学校でのすべての教科の学習は、大学や専門学校はもちろん社会に出てもすべて役に立つ。全科目ともしっかりと理解し、その定着に努めること。

(2) 教科以外の教育活動も社会に出てもすべて役に立つ。しっかりと行おう。

Q 8 : 最後に一言どうぞ。

A : (1) 学校時代の同級生・同窓生は一生の友達、先生は一生の恩師、少しずつ友情を育もう。

(2) 読書による思慮深さを身に付けよう。

①図書室・図書館の使い方を身に付けよう

②わからないことばに出会ったら「辞書」を用いて調べ、調べたことはノートに記入してすべて覚え、ことばの数を増やそう

③「書き抜き読書ノート」を作ろう

(3) 新聞を毎日読み、自分で考える力、批判的思考(ひはんできしこう)能力を身に付けよう。

「スクラップブック」(新聞切り抜き帳)を作ろう

(4) 学習の仕方を高校生のうちに身に付けよう。

①「学ぶ」とは、「ああ、これはこういうことなのか」とよく納得すること、「理解」すること

②「習う」とは、「理解」したことをシミからシミまで「定着」させること、正確に身に付けること

③「音読練習」と「書き取り練習」、「計算練習」と「問題練習」が「定着」には役に立つ

—練習は不可能を可能にする—

(5) 何のために進学するのか、何のために仕事をするのか、その意味を自分の力で考え、自覚をもって高校生活を送ること。

*御清聴を感謝申し上げます。

御質問、御意見を自由にお述べ下さい。

以上